

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社DNPファインオプトロニクス 三原西工場

(2) 事業所の所在地

〒729-0473

広島県三原市沼田西町小原73-47

(3) 業種

印刷業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は2014年度を基準年度とし、2015年度から2017年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

クリーンコンバーティング技術を核に、多様なマーケットにむけて、機能性フィルムを供給している我々は、人類の繁栄と未来を守るため、地球環境の保全及び資源の有効利用に努める

1. 事業活動の継続的発展を図るため、環境に与える影響を的確に捉え、環境目的及び目標を定め、定期的に見直し、計画し、実行し、継続的改善及び環境汚染の予防に努める。
2. 事業活動に適用される環境に関する法規、条例、住民との取決め、産業界の規範などを遵守し、必要に応じて自主基準を設定し、環境保全活動に取り組む。
3. 製品の開発・設計過程及び製造過程において、環境影響を認識し、省資源、省エネルギー、産業廃棄物の削減を図る。
4. 事業活動に関わる全ての人々に対し、環境方針及び環境保全活動の文書化したルールへの遵守と徹底を図るため、教育・訓練を実施し、管理の維持向上に努める

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成26年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素		18,662.95	18,662.95

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF ₆			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： CO₂排出量/通しm数 (t-CO₂/千m)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成29年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	18,663	47,724	0.3911	3	26,930	71,000	0.3794
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)							
目標設定の考え方	目標を基準年度(平成26年度)原単位換算年1%削減とし、平成29年度までの3年間で3%削減を目標とする						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	エネルギーの合理的な使用及び自主管理を確立する	原単位年1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電灯の間引き、照明LED化 ・ チラー温度設定変更 ・ 散水装置導入による夏季の空冷チラー装置使用効率向上 ・ インキ倉庫一般空調温度設定変更 ・ 脱臭装置温度設定変更
2	設備保全管理の実施によりエネルギーロス削減及び生産阻害防止を図る	原単位年1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産調整時の循環空調の停止 ・ 定期保全計画の作成および実行
3	エネルギー使用実態の傾向管理		<ul style="list-style-type: none"> ・ エネルギー原単位グラフ、電力・ガスMAPの作成
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

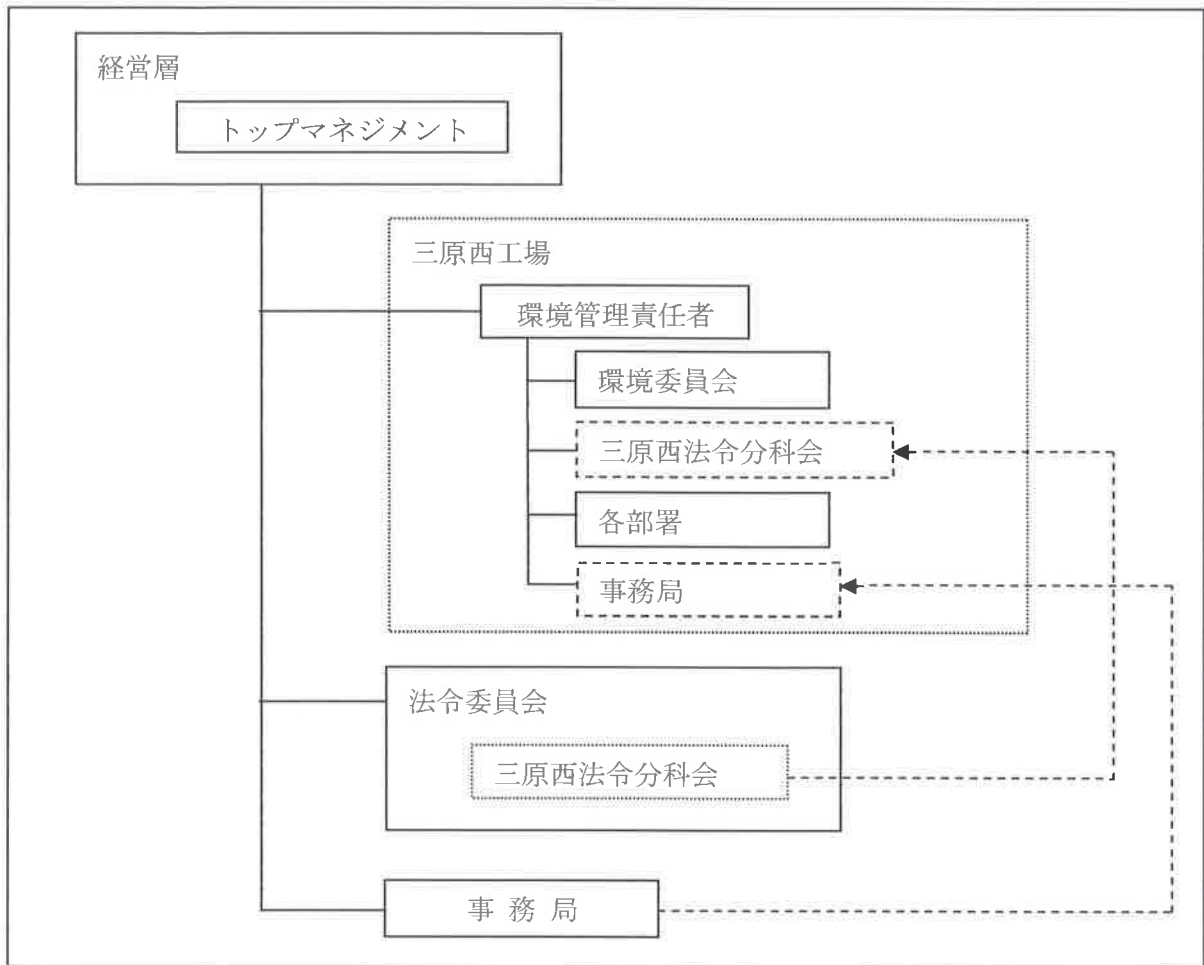
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量原単位（廃棄物排出量／生産高）の削減	年3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ シュレッダーシュレッダーゴミの削減（不要印刷の禁止） ・ 廃インキ削減
2	不要物発生量の削減	年3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃方法見直しによるウエス使用量の削減
3	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 沼田西町工業団地清掃 ・ エヒメアヤメ自生地下草刈り

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

三原第1工場内にてISO14001に基づいた環境マネジメントシステムを構築しており、環境委員会を中心として、毎月各部署にて設定した温室効果ガス削減へつながる計画の取り組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、環境委員会での会議において定期的に評価・見直しなどを行い、継続的な向上を図る。

また、毎年度の取り組み状況、点検・評価内容などについては、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

事務所に備え付けて閲覧する。